



## 平成 26 年度 画像保存セミナー

日本写真学会の画像保存研究会は、次世代に伝えるべき記録と価値ある写真画像、またその他の画像記録物の確実な保存を目指し、その知識の普及と技術の確立を目的としております。その主旨に則し、広く情報を発信する場として、1984年より画像保存セミナーを開催し、今年で31回目を迎えます。

デラウェア大学から、アメリカにおける写真保存・修復、教育・普及の分野の第一人者であるデボラ・ヘス・ノリス氏をお迎えし、災害を受けた写真を中心に写真の修復についてご講演いただきます。また、写真資料を保存している図書館や文書館からの保存に関する疑問にFAQ形式でお答えします。さらに美術館における大型作品の展示と保存について、二度と撮ることのできない写真の記録と記憶について、ハードディスク等のデータ保持とデータ復旧についてなど、多岐にわたる講演でセミナーを開催いたします。

例年通りセミナー終了後、講演者と参加者が自由に情報や意見の交換をして頂ける懇親会を設けております。画像保存に関心のある方、関連分野の多くの方々のご参加を賜りたく、案内申し上げます。

尚、今年度は会場が東京工芸大学となりますので、お間違いのないようご注意ください。

日時：平成26年11月 7日（金）  
9時55分～17時20分（9：30受付開始）

場所：東京工芸大学 芸術情報館メインホール  
東京都中野区本町2-4-7  
（地下鉄丸の内線・都営大江戸線 中野坂上駅より徒歩約7分）



主催 一般社団法人 日本写真学会

共催 学校法人 東京工芸大学

協賛 日本写真芸術学会／東京都写真美術館

一般社団法人 文化財保存修復学会／一般社団法人 画像電子学会

一般社団法人 日本印刷学会

一般社団法人 日本オプトメカトロニクス協会

一般社団法人 日本画像学会／公益財団法人 日本博物館協会

## セミナープログラム

9:30 受付開始

9:55 開会挨拶 セミナー実行委員長

10:00 講演 1. 大型化する現代写真作品の展示と保存

| - 「アンドレアス・グルスキー展」などの事例をめぐって -

10:55 東京国立近代美術館 美術課主任研究員 増田 玲

昨年の「アンドレアス・グルスキー展」は、巨大な作品による洗練された展示空間で注目された。90年代に台頭したグルスキーらドイツ現代写真は、いわゆるビッグ・ピクチャー時代をもたらしたことで知られる。デジタル化の波とも重なる大型化した写真作品の展示と保存をめぐって美術館が直面する課題について報告する。

11:00 講演 2. 「カメラばあちゃん」の記録と記憶

| IZU PHOTO MUSEUM 学芸員 小原 真史

11:55 「カメラばあちゃん」として親しまれた増山たづ子さんの写真について。増山さんはダムに沈みゆく岐阜県徳山村を29年間撮り続け、10万カットの写真と600冊のアルバムを残しました。本講演では、私的な記録と記憶が他者に開かれていくプロセスとその意味を探ると同時に、写真の保存の重要性について論じる。

- 昼食休憩 (65分) -

13:00 講演 3. 災害時における写真材料の脆弱性 (日本語通訳付き)

| デラウェア大学 文化財保存修復学科長

14:30 デボラ・ヘス・ノリス

近年、日本国内に限らず、世界各国で大きな自然災害が起きている。本講演では、災害を受けた写真のダメージ例と対処例等について、分かりやすく解説する。

- 休憩 (10分) -

14:40 講演 4. データ保持とデータ復旧

| 株式会社ワイ・イー・データ

15:35 情報セキュリティグループ 本庄 豊

当社は1995年に日本で最初にデータ復旧事業を開始し、以来約20年の間に多くの方々にご利用頂いています。しかし、安全にデータを保持するベストの方法は？どのような事故が多いのか、どうやって業者を選べば良いのかといった情報は検索しても見つかりません。HDD、メモリーカードの復旧事例を交えながら、データ保持とデータ復旧に関して解説する。

- 休憩 (10分) -

15:45 講演 5. 写真の保存に関するFAQ (日本語通訳付き)

| デラウェア大学 文化財保存修復学科長

17:15 デボラ・ヘス・ノリス

図書館や文書館等には、貴重な写真資料が数多く保存されている。こうした機関が抱えている写真の保存に関する疑問について、よく発せられる質問に回答する形式で解説する。

17:15 閉会挨拶 日本写真学会会長

\*各講演時間には質疑・応答の時間を含みます。なお、講演者および他の参加者の迷惑となるだけでなく、著作権の問題を含みますので主催者以外の写真・ビデオの撮影、録音はご遠慮願います。

\*閉会后、講演者と参加者の自由な情報交換の場として懇親会(下記参照)を行います。奮ってご参加ください。

## 参加申し込みについて

### セミナー参加費（講演要旨集代を含む）

日本写真学会および協賛学協会々員	……………	6,000 円
非会員	……………	8,000 円
学 生	……………	2,000 円

（日本写真学会の賛助会員所属で非個人会員の方の取り扱いに関しては、賛助会費の口数に応じた人数枠に対して申し込み順に会員扱いとなります。枠を超えた分は非会員扱いとなります。会員枠が残っているかどうかにつきましては、ご面倒でも事務局にお問い合わせ下さい。）

**定 員** 180 名（定員になり次第締切りますのでお早めにお申し込み下さい）

**懇親会** 講演者と参加者の自由な討論の場、および参加者相互の情報交換や交流を深める場として、セミナー終了後に下記のとおり懇親会を開きます。参加ご希望の方は郵便振替用紙の該当欄にその旨ご記入の上、会費をお送り下さい。

日時：当日 11 月 7 日 17 時 30 分より  
場所：東京工芸大学 芸術情報館 3 階  
会費：2,500 円

**申込締切** 平成 26 年 10 月 20 日（月）

**申込方法** このプログラムに同封されている郵便振替用紙に、必要事項をご記入の上、セミナー参加費をお振り込み下さい。ご入金を確認した後、参加証をお送り致します。また、懇親会に参加ご希望の方は会費も合わせお振り込み下さい。

（郵便局備え付けの振替用紙でもお申し込み頂けます。その際は参加費区分、懇親会参加の有無を通信欄にお書き下さい）

日本写真学会ホームページ <http://www.spstj.org/> から参加申込ができます。トップページの「最新イベント情報」、あるいは左肩「イベント」よりお入り下さい。その場合でも、参加費のお支払は、上記のように事前に郵便振込みでお願い致します。

なお、一旦振り込まれた参加費の返却は致しかねますので、参加のご都合が悪くなった場合には代理の方の参加等でご対処をお願い申し上げます。

**送り先** 〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学内  
(一社) 日本写真学会 Tel. 03-3373-0724  
郵便振替口座番号：00130-6-72818 Fax. 03-3299-5887

## 日本写真学会にご入会下さい

この機会に、会員でない皆様には当学会に入会されることをおすすめします。  
セミナー当日、受付に入会申込書がありますので、ご記入の上お申し込み下さい。

年会費： 正会員 8,500 円 学生 3,000 円

一般社団法人 日本写真学会 事務局  
〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5  
東京工芸大学内  
Tel. 03-3373-0724 Fax. 03-3299-5887  
URL <http://www.spstj.org>

このセミナーは、下記の組織で企画されました。

一般社団法人 日本写真学会

会 長：小林裕幸 副会長：小林和久 中野寧

画像保存セミナー実行委員会

委員長： 上田耕一郎（東京工芸大学）

委 員： 大関勝久（名古屋大学）

河野純一（元コニカミノルタ）

酒井健男（アルメディアオ）

清野晶宏（IMAGICA）

谷 昭佳（東京大学史料編纂所）

吉田 成（東京工芸大学）

大林賢太郎（京都造形芸術大学）

小林裕幸（千葉大学）

杉本和俊（コダック）

高橋則英（日本大学）

山口孝子（東京都写真美術館）